

## 第1章 国際情勢認識と日本外交の展望

1	情勢認識	002
2	日本外交の展望	006
特集	ロシアによるウクライナ侵略と日本の対応	013
	<b>コラム</b> 故安倍晋三国葬儀	028

## 第2章 地域別に見た外交

第1節	「自由で開かれたインド太平洋（FOIP）」の推進	030
1	総論	030
2	日本の具体的な取組例	031
3	各国との連携・協力	031
第2節	アジア・大洋州	035
1	概観	035
2	中国・モンゴルなど	039
	<b>コラム</b> 約束は果たされたー28年後の再会ー	052
3	朝鮮半島	054
4	東南アジア	068
	<b>参考</b> 経済データで見る東南アジアと日米中などの関係	075
5	南アジア	076
	<b>コラム</b> 2022年 日本・南西アジア交流年	080
	<b>参考</b> 経済データで見る南アジアと日米中などの関係	081
6	大洋州	082
	<b>参考</b> 経済データで見る太平洋島嶼国と日米中などの関係	087
7	地域協力・地域間協力	088
第3節	北米	095
1	概観	095
2	米国	096
	<b>コラム</b> 夕食会に込められた思いーバイデン米国大統領の訪日ー	102
3	カナダ	107
	<b>特集</b> 沖縄復帰50周年	109

第4節	中南米	110
1	概観	110
	<b>参考</b> 経済データで見る中南米地域と日米中などの関係	111
2	地域機構	113
3	中南米各国	114
	<b>コラム</b> 半世紀続く伝統の架け橋 ―日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画―	115
第5節	欧州	121
1	概観	121
2	欧州地域情勢	122
3	欧州地域機関との協力及びアジア欧州会合 (ASEM)	129
	<b>特集</b> 飛躍的に重要性の高まる日・NATO関係	130
	<b>特集</b> 欧州諸国との安全保障・防衛協力	132
	<b>特集</b> 欧州への統合に向けて進むモルドバ	138
第6節	ロシア・ベラルーシと中央アジア・コーカサス	139
1	概観	139
2	ロシア・ベラルーシ	140
3	中央アジア・コーカサス諸国	144
	<b>参考</b> 経済データで見る中央アジア・コーカサス地域と日米中などの関係	145
	<b>コラム</b> 日本と中央アジア・コーカサス諸国との外交関係樹立30周年	149
第7節	中東と北アフリカ	151
1	概観	151
	<b>参考</b> 経済データで見る中東・北アフリカと日米中などの関係	152
2	中東地域情勢	153
	<b>コラム</b> 外交関係樹立50周年を迎えて	160
3	北アフリカ地域情勢 (エジプト、リビア、チュニジア、アルジェリア、モロッコ)	162
	<b>コラム</b> 日・アルジェリア国交樹立60周年	165
第8節	アフリカ	166
1	概観	166
	<b>特集</b> 第8回アフリカ開発会議 (TICAD 8)	167
2	東部アフリカ地域	168
	<b>参考</b> 経済データで見るサブサハラ・アフリカ地域と日米中などの関係	169
3	南部アフリカ地域	172
4	中部アフリカ地域	174
5	西部アフリカ地域	175
	<b>参考</b> 「経済データで見る各地域と日米中などの関係」に関する留意事項	179

## 第3章 国益と世界全体の利益を増進する外交

第1節	日本と国際社会の平和と安定に向けた取組	182
1	安全保障に関する取組	182
	<b>特集</b> 新たな「国家安全保障戦略」などの策定	183
2	日米安全保障（安保）体制	184
	<b>コラム</b> 日米交流の促進・相互理解の増進のためのプロジェクト	189
3	グローバルな安全保障	190
	地域安全保障 (p.190)、経済安全保障 (p.193)、サイバー (p.196)、海洋 (p.197)、 宇宙 (p.202)、平和維持・平和構築 (p.204)、治安上の脅威に対する取組 (p.207)	
	<b>コラム</b> 平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業に参加して	208
4	軍縮・不拡散・原子力の平和的利用	211
	<b>特集</b> 「核兵器のない世界」へ ―第10回核兵器不拡散条約（NPT）運用検討会議―	213
	<b>コラム</b> 原子力技術と国際安全保障 ―IAEAの現場から―	222
5	国際連合（国連）における取組	227
6	国際社会における法の支配	232
	<b>コラム</b> 海洋紛争の平和的解決と法の支配	235
7	人権	237
8	ジェンダー平等・女性のエンパワーメント	240
	<b>特集</b> 国際女性会議 WAW! 2022の開催 ―WAW! for Mainstreaming Gender into a New Form of Capitalism (新しい資本主義に向けたジェンダー主流化)―	243
第2節	日本の国際協力（開発協力と地球規模課題への取組）	245
1	開発協力	245
	開発協力大綱の改定 (p.245)、日本のODA支援 (p.245)、2022年の開発協力 (p.246)、 国際協力事業関係者の安全対策 (p.249)、主な地域への取組 (p.249)、 適正かつ効果的なODA実施のための取組 (p.255)	
	<b>コラム</b> 故郷を追われた人々に迫る過酷な冬に備えて ―UNHCRのウクライナ人道支援―	247
2	地球規模課題への取組	256
	持続可能な開発のための2030アジェンダ (p.256)、国際保健 (p.259)、 労働・雇用 (p.260)、環境・気候変動 (p.262)、北極・南極 (p.269)	
	<b>コラム</b> グローバルヘルス・アーキテクチャー（GHA）の構築・強化	261
	<b>特集</b> プラスチック汚染問題に関する条約設立に向けて	263
	<b>特集</b> 第2回国連海洋会議 ―SDG14「海の豊かさを守ろう」達成に向けて―	264
	<b>コラム</b> 生物多様性に関する新たな世界目標「昆明・モントリオール生物多様性枠組」の採択	266
3	科学技術外交	270
	<b>コラム</b> 国力の基盤である科学技術力の強化に向けた外交的な取組の重要性	272

<b>第3節</b>	経済外交	273
1	経済外交の概観	273
2	自由で開かれた国際経済システムを強化するためのルール作りの推進	273
	<b>特集</b> 第12回世界貿易機関（WTO）閣僚会議 ―漁業補助金協定に関するWTO協定改正議定書の採択―	281
3	国際会議における議論の主導	283
4	日本の経済的な強みの発信（日本の農林水産物・日本産食品の輸出促進を含む。）	286
5	資源外交と対日直接投資の促進	287
	<b>コラム</b> モーリシャスから見たインド洋漁業	297
<b>第4節</b>	日本への理解と信頼の促進に向けた取組	298
1	戦略的な対外発信	298
	<b>コラム</b> ソーシャルメディアを通じた開かれた外交	301
2	文化・スポーツ・観光	302
	<b>コラム</b> 「文化のWA（和・環・輪）プロジェクト―知り合うアジア―」を通じて 培われた共感の輪	306
	<b>コラム</b> 帰国留学生会が広げる日本の輪	307

## 第4章 国民と共にある外交

第1節	世界とのつながりを深める日本社会と日本人	314
1	日本の成長と外国人材の受け入れ	314
2	国際社会で活躍する日本人	315
	<b>コラム</b> 国連の舞台を支えてきた日本人の声 激動の時代の安全保障 ―国連の軍縮活動をリードして―	318
	国連職員＝ファシリテーターとは？	319
	<b>特集</b> 日本NGO連携無償資金協力20周年 一次の20年に向けて―	322
	<b>コラム</b> 柔道で国際協力 ―任国の大統領勲章を受章―	323
3	地方自治体などとの連携	324
第2節	海外における日本人への支援	328
1	海外における危険と日本人の安全	328
2	領事サービスと日本人の生活・活動支援	332
3	海外移住者や日系人との協力	336
4	国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約（ハーグ条約）の実施状況	337
第3節	国民の支持を得て進める外交	338
1	国民への積極的な情報発信	338
	<b>コラム</b> 「キッズ外務省」のトリセツ	340
2	外交実施体制の強化	342
3	外交におけるシンクタンク・有識者などの役割	345
	<b>コラム</b> 公邸料理人 ―外交の最前線の担い手として―	347
	<b>コラム</b> 外交拠点・大使館を「創る」―営繕技官の仕事―	349
	<b>コラム</b> 外交青書を通じた研究活動	351

## 資料編

慰安婦問題 参考資料	354
旧朝鮮半島出身労働者問題 参考資料	356
国際機関などに対する拠出実績 令和3年度外務省拠出実績・国際機関などにおける2021年の日本の拠出割合	358
グローバルな課題の解決に向けて 一国際機関で働くという選択肢一	360
外務省における採用情報	362
地方創生支援事業一覧	364
国際社会及び日本の主な動き	366
要人往来	384
用語索引	412